

[3 - G - 0 1] 公共交通情報誌の発行

分類	公共交通の利便性の向上
細分類	各種情報提供
実施主体	相模原市公共交通整備促進協議会 (相模原市長、相模原市議会議員、相模原市自治会連合会 他)
実施時期 (期間)	平成15年12月～
対象地域	相模原市内(まちづくりセンター、公民館等の出先機関の窓口等に配架)
実施段階	継続中
実施目的	市民に公共交通の利便性向上に関する情報を提供することにより、公共交通の利用を促進するもの。
コスト及び 財源	相模原市補助金
実施概要	<p>1. 名称、発行部数、規格</p> <p>○相模原市公共交通ニュース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1号 15,000部(平成20年3月) ・第2号 15,000部(平成21年1月) ・第3号 15,000部(平成22年3月) ・第4号 15,000部(平成23年3月) ・第5号 10,000部(平成24年3月) ・第6号 10,000部(平成25年3月) ・第7号 10,000部(平成26年3月) ・第8号 10,000部(平成27年3月) ・第9号 10,000部(平成28年3月) ・第10号 10,000部(平成29年3月) ・第11号 10,000部(平成30年3月) ・第12号 10,000部(平成31年3月) ・第13号 6,000部(令和 2年3月) ・第14号 6,000部(令和 3年3月) ・第15号 6,000部(令和 4年3月) ・第16号 6,000部(令和 4年3月) <p>2. 主な掲載事項</p> <p>○相模原市公共交通ニュース(第16号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用促進 ・公共交通に係る活動を紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの出展 ・小学校における総合学習[相模線]の実施 ・総合都市交通計画を周知 ・交通事業者への支援事業を周知 ・要望活動の実施 <p>3. 配布場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりセンター、公民館等の出先機関の窓口配架 ・市内で運行しているバス車両内での配架 ・交通政策課窓口 など

(表面)

相模原市公共交通ニュース 第16号
令和4年3月号

相模原市公共交通連携促進協議会は相模原市、市議会、自治会連合会、市内各団体をより連携させ、令和4年の設立以来、相模原地域の鉄道、バス交通等、公共交通の振興促進を目的に鉄道、バス及びタクシー事業者への啓発活動や、公共交通の利用促進に向けた啓発活動等を行っています。

みんなで使おう公共交通

市内における鉄道、バスなどの公共交通の利用者は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しています。人口減少や少子高齢化が進む中、交通弱者などの移動手段を確保するため、公共交通の重要性はますます高まっています。この機会に公共交通のメリットを知り、みんなで利用しましょう。

車種	バス利用者数	乗客総数
平成23年	80,766人	654,827人
令和2年	85,429人	680,703人
令和3年	66,514人	541,254人

（日94乗客数）

■本市における移動手段の割合
（平日の通勤・通学利用者の割合）

徒歩 23%
自転車 15%
自動車 26%
公共交通 36%

自動車・自転車 2%

公共交通のメリット

安全で安心
バスの事故件数は、自宅用自動車約4分の1であることから、安全性が高い交通手段と考えます。乗客が安全確保のため1年間の乗客の乗降回数より削減。

環境にやさしい
1人を1台車の体積で送れるCO₂は、乗客1台用自動車約2分の1のため、環境にやさしい交通手段と考えます。乗客の乗降回数削減により削減。

経済の緩和
鉄道やバスの利用促進が図られることにより、自動車利用者が減少し、駅前などの交通渋滞が緩和されます。

麻布大学大学祭へのコミュニティバス出展
3年ぶりに対面での開催となった「麻布大学大学祭（10/29、30開催）」に大野地区コミュニティバスを展示しました。会場では、バスの乗り方教室の開催やペーパーワークの配布などで、乗客者へ相模原市のコミュニティバスを押し、バスの利用促進を図るとともに、バスについての知識や魅力などを発信いたしました。

(裏面)

夢の丘小学校の総合的な学習で「相模線」がテーマになりました！

児童たちに駅や電車、地域に愛着を持ってほしいという先生の熱い思いから、夢の丘小学校の3年生の「総合的な学習の時間」に、「相模線」が取り上げられました。具体的な学習として、相模線に愛着を持って、学校だけでなく相模線に対する思いをポスターに描き、駅舎への展示が行われました。地域からは、「元気が出る」「3年からの感謝の気持ちを相模線の駅が伝わった」「アイディアがよかった」「楽しかった」「取り組みが良かった」など、好意的な感想が多く寄せられました。また、市議会が夢の丘小学校に訪問し、鉄道や相模線、児童たちのポスターについて、意見交換を行いました。児童たちからは「感謝の気持ち伝わりましたか」「どうしたらもっと期待が伝わりますか」など、積極的な質問が寄せられました。児童たちには、「これからも積極的に愛着を持ち、相模線にたくさん乗ってほしい」と伝えました。

公共交通の運行継続を支援！ ～公共交通支援金の交付～

新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者は激減して減少傾向にあり、待合の待料価格高騰も進むなか、事業者等は厳しい経営状況の中にあり、市民の利便性の確保と生活維持が求められ、緊急対策を行いながら事業の継続に取り組んでいます。相模原市では、こうした取り組みを支援するため、国の地方創生臨時交付金を活用して、市内各運行する交通事業者（自動車バスタクシー）へ公共交通支援金を交付しています。令和3年度は、122件の事業者に支援を行いました。令和4年度は、申請があった事業者へ支援金を交付しています。

啓発活動を実施しました！

相模原市公共交通連携促進協議会では、公共交通の利便性の向上に向けて、令和5年3月に各交通事業者へ啓発活動を行いました！

＜主な啓発内容＞

- ・東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社
- ・京王電鉄株式会社
- ・成田線の輸送力増強、相模線の輸送力増強
- ・京王相模原線の輸送力増強、駅施設の整備等
- ・東日本旅客鉄道株式会社 工芸営業
- ・神奈川中央交通株式会社
- ・相模原線の輸送力増強、駅施設の整備等
- ・相模原線の輸送力増強、駅施設の整備等
- ・小田急電鉄株式会社
- ・相模原線の輸送力増強、駅施設の整備等
- ・小田急電鉄株式会社 相模原支社
- ・相模原線の輸送力増強、駅施設の整備等

相模原市が目指す持続的な交通のすがた。
相模原市では、令和4年3月に「相模原市総合都市交通計画」を策定し、鉄道や路線バスなどの公共交通中心の持続可能な交通体系の確立を目指しています。

都市交通の充実のために勤務先でも市役所に参加してませんか！
相模原市では、都市交通の発展にかかる費用の一部とするため、都市交通整備推進への協力を呼びかけ、市役所の協賛や企業などの協賛を呼びかけています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

相模線緑線化等促進期成同盟会 公式SNS
相模線の沿線情報や同盟会の取組などを発信しています！！
公式ホームページもチェック！

発行/相模原市公共交通連携促進協議会 編集/（事務局）交通政策課
☎042-769-8249（直通） E-mail toshikoutsu@city.sagamihara.kanagawa.jp

実施結果	市民に公共交通の利便性向上に関する情報を提供し、公共交通の利用を促進した。
その他課題等	市民にとってより利便性の高い情報提供
類似事例	
連絡先	相模原市 都市建設局 まちづくり推進部 交通政策課 電話 042-769-1395(直通)
備考	相模原市ホームページ https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026823/toshikotsu/1004813/1004833.html

[3-G-02] バス運行情報システムの導入

分類	公共交通の連続性や利便性の向上
細分類	各種情報提供
実施主体	神奈川中央交通株式会社及びグループ各社並びに相模原市
実施時期 (期間)	平成19年度から順次実施
対象地域	相模原市
実施段階	本格実施
実施目的	路線バス利用者が、インターネットに接続したコンピュータやスマートフォン等を用いてバスの運行状況を随時把握できるようになることにより、外出時のバス待ち時間短縮などを通じて、乗客の利便性を向上させる。
コスト及び財源	相模原市バス利用促進等総合対策事業補助金 バス事業者が実施するバス利用者の利便性の向上に資する事業に対して補助する 1. バスロケーションシステム車載器設置事業 補助率1/4 2. バス総合案内システム設置事業(バス運行情報案内表示機を含む) 補助率1/5
実施概要	<p>1. バスロケーションシステムの概要</p> <p>全地球測位システム(GPS)等を活用して路線バスの運行位置等を計測し、インターネット網を介して、パソコンや携帯電話に運行情報を表示させる。</p> <p>バス利用者は、乗りたいバスの到着予定時刻等の情報を得られるので、バスを待つ間のイライラ感が解消される。また、自宅や職場にいながらにして運行情報が把握できるので、バス停での待ち時間を短縮できるほか、外出時の予定を立てやすくなる等、乗客の利便性が向上する。</p> <p>(機能例)</p>  <p>神奈中バスロケーションの主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> バスの接近情報を調べる この停留所に、バスはあと何分で来るの？ 乗りたいバスは今どこまで来てるの？ 小田急線との乗継を調べる※2 新宿に行く場合、何分の電車に乗れるのかな？ No. 車両番号で到着時間を調べる※3 このバス、あと何分で目的地につくのかしら？ <p>すべてわかります!</p> <p>相模原市が運行委託をしている コミュニティバスも確認できます</p>

出典：相模原市 MM 啓発事業チラシ

2. バスロケーションシステムを活用したバス運行情報案内表示機の設置

利用者の利便性の向上及び鉄道等から路線バスへの乗継ぎに伴う抵抗感の軽減を図るため、バスロケーションシステムを活用し、各乗場発車時刻等の詳細情報をリアルタイムに表示するバス運行情報案内表示機を設置する。

(設置例)



写真：JR 相模原駅の神奈中バス運行情報案内表示機

(機能例：JR相模原駅)

時刻	乗場	系統	行き先	経由地	バス情報	時刻	乗場	系統	行き先	経由地	バス情報
19:53	2	相29	相模大野駅	ホール・北里ブ	定例通り	20:10	3	相55	橋本駅北口	三菱電機前	
19:55	7	相31	峡の原車庫	大河原	定例通り	20:12	6	相14	上溝	横山団地	
20:00	2	相29	北里大学病院	光が丘三丁目		20:15	7	相31	峡の原車庫	大河原	
20:00	北1	相52	橋本駅北口	宮下	定例通り	20:20	1	相09	相模大野駅	ホール・大野イ	
20:00	5	相17	水郷田名	田名バスターミ	定例通り	20:20	2	相20	麻溝車庫	光が丘三丁目	
20:00	4	相02	相模大野駅	横野森		20:20	4	相02	相模大野駅	横野森	
20:00	6	相12	上溝	市役所前	定例通り	20:24	6	相12	上溝	市役所前	定例通り
20:05	2	相29	麻溝車庫	光が丘三丁目		20:25	5	相17	水郷田名	田名バスターミ	
20:10	8	相30	下九沢団地	昭和電機前		20:30	3	相55	橋本駅北口	三菱電機前	
20:10	2	相29	相模大野駅	ホール・北里ブ		20:30	2	相29	相模大野駅	ホール	

※ 黄色で表示されている欄は、予定時刻と異なる可能性があります

3月28日(月)19:50 お知らせ 現在、発車後に1番線は平均1分遅れ、2番線はほぼ準時。

※1

※2

※1 駅を出発する路線バスの運行情報を出発時間順(または乗り場順)に表示。

日本語と英語表記の切り替えやバスのりば案内図を切り替えて表示。

※2 駅を出発する系統の平均遅延時分など、運行に係る情報を表示。

実施結果

1. バスロケーションシステム

令和4年度は補助実績なし

相模原市域を出発地とするアクセス件数1日あたり33,251件(令和4年度実績)

2. バス運行情報案内表示機の設置

令和4年度は補助実績なし

これまで市内3箇所に設置(田名バスターミナル、JR相模大野駅、JR相模原駅)

その他課題等

類似事例

東京都営バス、横浜市営バス、川崎市営バス、東急バス等


連絡先

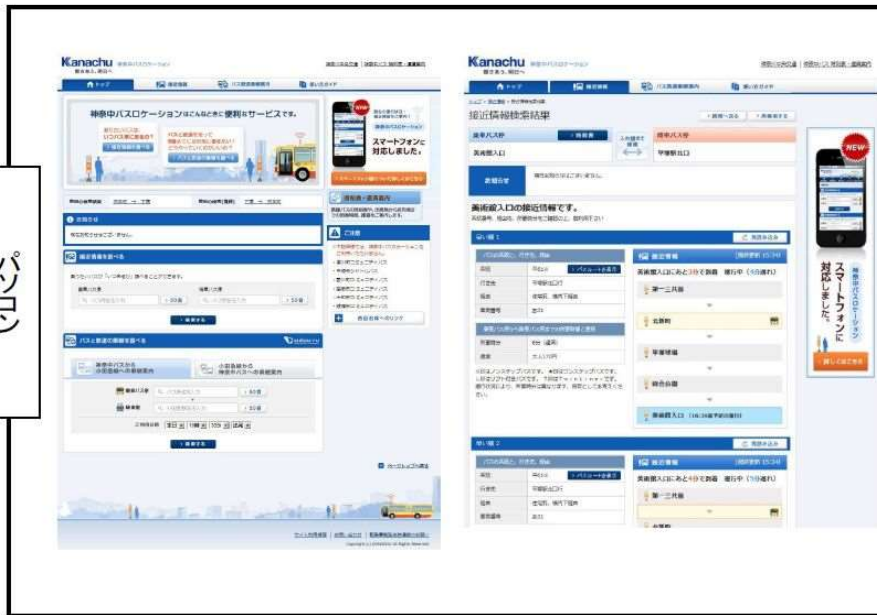
相模原市 都市建設局 まちづくり推進部 交通政策課
電話 042-769-8249

備考

<https://www.kanachu.co.jp/dia/> (神奈川中央交通(株)ホームページ 時刻表・運賃案内)

[3 - G - 0 3] バス運行情報システムの導入

分類	公共交通の連続性や利便性の向上
細分類	各種情報提供
実施主体	神奈川中央交通株式会社（平塚市は導入又は設置に対し補助を実施）
実施時期 (期間)	平成22年12月16日から順次実施
対象地域	平塚市
実施段階	本格実施
実施目的	路線バス利用者が、スマートフォンや携帯電話、インターネット接続したパソコンなどを用いて、バスの運行状況をリアルタイムに把握できるようになることで、外出時の待ち時間の短縮などが図られ、公共交通の利便性を高められる。
コスト及び 財源	(バスロケーションシステム 車載器設置費用) 補助率 1/3 (国土交通省との協調) (バス時刻表等案内システム システム導入費用) 補助率 1/3(補助限度額300万円、国土交通省との協調)
実施概要	<p>バスロケーションシステムとは、バスにGPS装置を搭載しバスの位置情報を把握することでリアルタイムな運行情報を把握でき、バスの接近情報や目的地の到着予測時間、バスの到着予測時間を加味した小田急線との接続案内などを検索することができるシステムであり、平成22年度に平塚営業所で保有しているバス116台にシステムを導入した。</p> <p>また、令和2年3月に、平塚駅北口駅前広場に、多言語で目的地までのバス路線を検索できるタッチ式デジタルサイネージ(「多言語による目的地検索システム」)およびバスロケーションシステムを活用し、発車時刻などの詳細情報をリアルタイムに表示することができる「バス運行情報案内表示機」を設置し、運用を開始した。</p> <p>(バスロケーションシステム)</p> 



【出典】神奈川中央交通株式会社資料

(バス時刻表等案内システム)



<p>実施結果</p>	<p>(バスロケーションシステム) 令和4年度の1日あたりのアクセス件数は、パソコンでは 11,383 件、スマートフォンでは 13,250 件、携帯電話では 277 件であった。 (バス時刻表等案内システム) 令和4年度の1日あたりのバス路線検索利用数は、平均24回～62回であった。</p>
<p>その他課題等</p>	
<p>類似事例</p>	
<p>連絡先</p>	<p>平塚市 まちづくり政策部 交通政策課 交通政策担当 電話 0463-21-9840 (直通)</p>
<p>備考</p>	

[3 - G - 0 4] バス運行情報システムの導入

分類	公共交通の連続性や利便性の向上
細分類	各種情報提供
実施主体	藤沢市、バス事業者
実施時期 (期間)	平成 17 年3月～
対象地域	藤沢市
実施段階	本格実施
実施目的	パソコンや携帯電話を用いてバスの運行情報を提供し、バス利用者のバス待ち時間短縮などによる利便性の向上を図る。
コスト及び 財源	
実施概要	<p>1. バス運行情報システム(バスロケーションシステム)の概要</p> <p>GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停や駅、病院などの主要施設に設置した表示板、携帯電話、パソコンに情報提供するシステム。これにより、渋滞や雨などの理由によりバスが遅れているときのバス待ちのイライラを解消したり、遅れが生じている場合は自宅や施設の待合室等で待つことができ、利用者の利便性の向上を図ることで、自家用車から公共交通への転換も期待される。</p> <p>市はバスロケーションシステムの導入費用の一部をバス事業者に対し、国土交通省と協調して補助を行う。(負担割合:バス事業者1/2、国1/4、市1/4)</p> <p style="text-align: center;">■バスロケーションシステム概要図</p>

	<p>2. バス運行情報システム(バスロケーションシステム)の導入路線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年12月に神奈川中央交通(株)、(株)藤沢神奈交バスが営業する藤沢市内および藤沢市内と他市を連絡する全路線に導入。 ・平成29年2月に(株)江ノ電バス藤沢が営業する藤沢市内および藤沢市内と他市を連絡する全路線に導入。 <p>3. 補助対象車両数</p> <p>323台</p> <p>平成16年度:神奈川中央交通(株)綾瀬(営) 2台 :神奈川中央交通(株)茅ヶ崎(営) 2台</p> <p>平成17年度:神奈川中央交通(株)茅ヶ崎(営) 2台</p> <p>平成21年度:神奈川中央交通(株)藤沢(操) 97台 :(株)藤沢神奈交バス藤沢(営) 7台</p> <p>平成22年度:神奈川中央交通(株)綾瀬(営)106台</p> <p>平成28年度:(株)江ノ電バス藤沢湘南(営)107台</p>
実施結果	<p>2010年3月時点では、1日平均600件ほどアクセスであったが、その後、利用者数は増加し、サービスエリアが拡大した2010年12月の段階では、1日平均約1,700件と急増した。2012年1月時点では、3,900件のアクセスとなり、2010年3月に対しての6.5倍に利用が拡大した。2013年3月に神奈川中央交通(株)の運行する全路線で導入され、同時にスマートフォン対応に変更された。</p> <p>なお、2018年に(株)江ノ電バス藤沢にバスロケが導入されたことで市内を運行する全路線で使用できるようになった。</p>
その他課題等	
類似事例	横浜市営バス、川崎市営バス、川崎鶴見臨港バス、東急バス、神奈川中央交通(株)(厚木・愛甲地区等)ほか
連絡先	藤沢市 計画建築部 都市計画課 電話 0466-25-1111 内線 4212
備考	http://www.kanachu.co.jp/ (神奈川中央交通(株)ホームページ) https://www.enoden.co.jp/bus/ ((株)江ノ電バスホームページ)

[3-G-05] バスマップの作成・配布

分類	公共交通の連続性や利便性の向上
細分類	各種情報提供
実施主体	酒匂川流域地域公共交通活性化検討会(平成 21 年～30 年) 小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町 神奈川県西部広域行政協議会都市交通部会(令和元年～) 小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町
実施時期(期間)	平成 21 年度～
対象地域	県西部都市圏2市8町(令和元年～) 小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町
実施段階	本格実施
実施目的	地域公共交通を活性化し、支えていくための取組の一環として、バス交通の利便性向上、利用促進を図る。
コスト及び財源	約 1,399 千円 公益財団法人神奈川県市町村振興協会助成金
実施概要	<p>酒匂川流域2市5町による「さかわがわ流域バスマップ」に、箱根町、真鶴町、湯河原町を追加し、令和2年度から県西地域2市8町のすべての地域を網羅するバス路線図とバスの利用方法などを掲載した「県西部都市圏バスマップ」を作成。公共施設の窓口等で配布するとともに、ホームページに掲載する。</p> <p>【バスマップ作成実績】</p> <p>平成 21 年度 酒匂川流域地域公共交通活性化検討会による ～ 「さかわがわ流域バスマップ」の作成。 平成 30 年度</p> <p>令和元年度 県西地域2市8町のバスマップ製作に係る検討実施。 令和2年度 県西地域2市8町による「県西部都市圏バスマップ」を作成。 令和3年度 県西地域2市8町による「県西部都市圏バスマップ」を作成。 令和4年度 県西地域2市8町による「県西部都市圏バスマップ」を作成。</p> <p>【表紙】</p>

【掲載面】



62 小田原市 観光情報

観光情報

小田原城天守閣



施設概要
昭和35年（1960年）に市制20周年記念事業として、江戸時代の姿に復興されました。最上階からは、市街地や相模湾などを一望できます。平成28年5月1日にリニューアルオープンし、天守閣が立つ丸を中心とした城址公園、桜・桜つつし・藤・花菖蒲、あじさいやハスなどの季節の花の名所としても知られ、市民や観光客の憩いの場になっています。

住所 小田原市城下町1-1

連絡先 0465-22-3818

営業時間 9:00～17:00（最終入館16:30）

定休日 12月31日、12月第2水曜日、1月1日

アクセス 小田原駅東口から徒歩10分

HP <https://odawaracastle.com/>

小田原宿なりわい交流館



施設概要
昭和初期に建てられた旧網商をリニューアルした施設で、小田原の典型的な商家の造りである「出町(だしげり)造り」という建築方法が用いられています。現在は、市民や観光客の皆様の「憩いの場」として、誰でも立ち寄れる「体験型」や市民活動の発表の場として、気軽にご利用いただけます。

住所 小田原市本町3-6-23

連絡先 0465-20-0515

営業時間 10:00～19:00（11～3月）10:00～18:00

定休日 12月31日（そのほか臨時休館あり）

アクセス 小田原駅東口から徒歩15分

HP <http://www.city.odawara.kanagawa.jp/municipality/industry/urban/nariwai.html>

小田原漁港(港の朝市)



施設概要
アジをはじめとした相模湾の新鮮な魚介類が毎日水揚げされます（セリは非公開）。周辺には鮮度が評判の飲食店が数多くあるほか、小田原ちよらんを模した自販機もあり、休日には多くの観光客が訪れます。また、毎月第2・4土曜日の朝は、港の朝市が開催されます。

住所 小田原市早川1-10-1

連絡先 0465-22-9227

営業時間 鮮魚販売9:00～売切まで（第4週目のみ）
整理券は8:00～配布 鮮魚以外7:00～9:00

アクセス JR早川駅から徒歩1分

HP <http://www.city.odawara.kanagawa.jp/municipality/industry/fisher/morningmarket/p14096.html>

漁港の駅 TOTOCO小田原



施設概要
新鮮な海産物を求め、多くの住民や観光客が訪れる小田原漁港周辺。「漁港の駅TOTOCO小田原」は、相模湾に育まれた魚の魅力を発信する交流の場です。食事処では、水揚げされたばかりの魚が安く、お土産にも最適な水産加工品、さらには地場の農産物なども販売しております。漁町小田原のさらなる水産振興に向け、にぎわいの場としての役割を担っています。

住所 小田原市早川1-28

連絡先 0465-20-6336

営業時間 1階:9:00～17:00 2・3階:10:00～17:00(3月～9月)16:00

定休日 年中無休

アクセス JR早川駅から徒歩10分

HP <https://www.totoco-odawara.com/>

実施結果

・令和2年度に、対象範囲2市8町に拡大するとともに、観光情報や路線バスの時刻検索用QRコードを追加し、利便性が高く、わかりやすい新しいバスマップの作製を行った。

その他課題等

・バスマップのニーズはあるが、実際の利用促進に繋がっているか効果が見えにくい。
・広告収入の活用など、持続可能な事業体制の構築が必要。（バスマップ掲載情報の更新、製本、配布等に要する財源等の確保が課題。）

類似事例

連絡先

神奈川県西部広域行政協議会都市交通部会(小田原市都市部まちづくり交通課)
〒250-8555 小田原市荻窪 300 TEL0465-33-1405

備考



https://www.city.odawara.kanagawa.jp/municipality/c-planning/traffic/bus_t/rosen/kenseibutosiken_bus_map.html

[3-G-06] バス運行情報システムの導入

分類	公共交通の連続性や利便性の向上
細分類	各種情報提供
実施主体	神奈川中央交通株式会社及びグループ各社並びに伊勢原市
実施時期(期間)	平成22年12月18日から稼働
対象地域	伊勢原市
実施段階	本格実施
実施目的	パソコンや携帯電話、スマートフォンを用いてバスの現在位置やバス停への到着予定時刻などの運行情報をリアルタイムでバス利用者に提供することで、路線バスの利便性を向上させ、公共交通機関としてのバスの利用を一層促進することを目的とする。
コスト及び財源	事業費 14,350,000 円 (車載器設置費用1基当たり35万円×41基) うち、伊勢原市補助額 3,587,500 円 (国土交通省との協調、市負担率1/4)
実施概要	<p>GPSバスロケーションシステムについて、神奈川中央交通株式会社伊勢原営業所の保有する41台のバス車両に整備を実施した。</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 20px;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">スマートフォン</div>  </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">パソコン</div>  </div> </div>

資料：神奈川中央交通株式会社

実施結果	平成22年12月18日運用開始
その他 課題等	—
類似事例	東京都営バス、横浜市営バス、川崎市営バス、東急バスなど
連絡先	伊勢原市 都市部 都市政策課 0463-94-4739 (直通)
備考	http://real.kanachu.jp/sp/ (神奈川中央交通 バスロケーションシステム) GPSバスロケーションシステムについて、令和5年3月末時点の伊勢原営業所が所有するバス車両90台について整備されている。

[3-G-07] 公共交通に関するリーフレットの作成・配布

分類	公共交通の連続性や利便性の向上
細分類	各種情報提供
実施主体	伊勢原市
実施時期(期間)	平成元年度から
対象地域	伊勢原市
実施段階	継続中
実施目的	公共交通の便利な使い方などの情報をリーフレットとして市民に配布することで、公共交通の利用を促進し、公共交通サービスを将来にわたって維持・充実していくことを目的とする。
コスト及び財源	一般財源 印刷製本費

- 主な配布先
 - 公共施設（市役所・公民館、子育て支援センター、地域包括支援センター等）
 - 公共交通機関（駅、バス車内、タクシー車内）
 - 警察署
 - 金融機関等（郵便局、銀行）
 - 農協
 - スーパーマーケット

- 配布部数

令和元年度	2,500部	配布物：みんなで乗ろういせはらの公共交通 2019 (H31.3 作成)
令和2年度	7,500部	配布物：伊勢原市公共交通の極 (R2.4 作成)

【伊勢原市公共交通の極】

実施概要



実施結果	市民に公共交通の便利な使い方などの情報提供を行い、公共交通の利用を促進した。
その他 課題等	—
類似事例	
連絡先	伊勢原市都市部都市政策課 0463-94-4739（直通）
備考	伊勢原市ホームページ https://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2020061500026/